

第6回 魚津市総合計画審議会 議事概要

【日 時】 令和8年2月16日（月） 午後3時00分から午後4時40分

【場 所】 魚津市役所2階 第1会議室

【出席者】 委 員 17名 前澤会長、秋本委員、朝野委員、大澤（千）委員、
大澤（ま）委員、柿本委員、近藤委員、佐々木委員、島津委員、
末上委員、武隈委員、中野委員、中村委員、濱元委員、
廣瀬委員、横田委員、若林委員

市当局 11名 村椿市長、石黒副市長、山瀬教育長、江田企画部長、
窪田民生部長、赤坂産業建設部長、田中教育委員会事務局長、
矢野上下水道局次長、木村企画部次長、
（事務局）林企画係長、山内企画庶務

15:00 開会

事務局 定刻となったため「第6回魚津市総合計画審議会」を開会する。本日はお集まりいただきありがとうございます。本日は2名の委員よりご欠席の連絡をいただいている。開会にあたって、会長からご挨拶をいただく。

会 長 皆さまお忙しい中ご出席ありがとうございます。本審議会も第6回目となり、いよいよ計画を答申する。言い残したことがないようにご意見いただければと思う。よろしく願います。

事務局 会長ありがとうございます。続いて、村椿市長から挨拶を申し上げる。

市 長 本日は皆様お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。本市のまちづくりに多大なるご協力を賜っていること、この場を借りて感謝申し上げます。先程お話のとおり、令和6年9月にスタートした審議会も最終の6回目となる。これまで皆様にご審議いただいた第5次基本構想の改訂案は昨年12月の審議会で議決を得ている。新たな基本構想に基づいて来年度からスタートする第12次基本計画は、前回の審議会における皆様方のご意見を反映した後、パブリックコメントを実施したところ。本日は最終案を確認いただき、答申いただく予定である。後期基本計画は改訂後の基本構想に掲げた将来像を実現していくための具体的な道筋を描く計画という位置づけ。何よりも大きな課題としては人口減少対策。これまでの取り組みを振り返り、デジタル技術を活用して、人口減少を緩和しながら、人口減少に適応していくまちづくりを進める。そうしたことを重点に対策していくもの。本日、皆様にはこの場で思いの丈を述べていただければと思う。実り多き会となることをお願い申し上げて、挨拶に代えさせていただきます。

事務局 ここからの議事進行については前澤会長に願います。

会 長 議事に入るにあたり、審議会の流れを確認する。前回11月6日に行った第5回審議会において、パブリックコメントで寄せられたご意見の報告を受け、基本構想の改訂案が妥当である旨を答申した。また、今後進めていく主要な施策について書かれている基本計画案について皆様からご意見をいただき、大筋でご理解をいただいた。その後パブリックコメントを実施されたとのこと。今回は基本計画案の確認と、答申文の調整を行った後に、基本計画案の答申を行う。あわせて、総合戦略案の協議も行うこととなる。

時間は限られているが本日も委員の皆様におかれては活発なご発言をお願いする。これまで同様、新しく示された内容を中心に事務局から説明していただきたい。それでは、議題1. 第5次魚津市総合計画基本構想（案）について、事務局より説明をお願いする。

事務局 （説明）

第5次魚津市総合計画 第12時基本計画（案）について

会 長 説明ありがとう。説明いただいた資料1、2についてご意見を伺いたい。本日の説明事項のみでなく、計画策定に関するご意見でも結構。ご意見のある方は挙手をお願いする。

A委員 先程のお話の件ではない部分になるが、134頁。総合交通体系の整備。目指す姿の実現の取り組みの1番。幅広く利用しやすい体制の整備と記載があるが、5年後目指す姿ということもあるので、ライドシェアや自動運転バスなども念頭に置いていただけると将来像としてより良いかと思う。その点を申し伝えさせていただく。

会 長 ありがとう。事務局より何かあるか。

産業建設部長 ご意見ありがとう。おっしゃる通り、公共交通の利便性の向上のなかで、ライドシェアや自動運転バスなどあるが、特にバスについては、運転手不足ということが課題となっているところ。どんなことができるか検討しながら、課題を解決できるよう、他市の事例収集や自動運転バスなどが実現できるかどうかしっかり検討してまいりたい。

会 長 自動運転バスを走らせるためには、法律的にはあまり簡単にできないものなのか。

産業建設部長 レベルが何段階かある。ドライバーが乗らずにバスだけ走るものと、ドライバーが乗って安全性を確保しながら走るものとある。ハード整備としては、道路上に車を認識して自動で走る設備改良が必要な場合もある。それらをトータルで考えて何が実現できるか。全域では無理でも一定区間でできるのではないか。検討していきたい。

会 長 どのようなレベルにあたるかわからないが、人が乗らなくともよいものでなければ人手不足の解消にはならないだろうと思う。そこまでいけると良いなと思う。他に何か。

では私から。パブリックコメントにもあったが、デジタル技術に慣れていない方をどうするかという話について。「誰一人取り残さない 人にやさしいデジタル化」と言われているが、デジタル技術は基本的には簡単に使えるものであって、上手く使えない場合には技術の方が悪いのだというスタンスのものだと思う。ただ、完成度の高いものを入れようとする

時間もかかる。最初に導入するときはどうしても引っかかるころは出てくると思うが、具体的にはどういうことを考えておられるのか。

企画部長 「誰一人取り残さない 人にやさしいデジタル化」は国のデジタル庁ができたときにこうした目標を掲げて法律に謳われている文言。市としては、デジタルの苦手意識を解消していただくためのものとしてスマホ教室を実施している。開始してから5年程。毎月、1～2回実施し、これまで高齢の方を中心に800人以上が参加されている。最高齢が93歳の方が教室に来られてスマートフォンの取扱を勉強されたり、一方で、視力の弱い方が教室に来られて、音声でこういったことができるということを紹介したりもした。その教室を経てスマートフォンをどれだけの人が使うようになったかの追跡はしていないが、地道な努力としてはそうしたことをしている。

また、スマートフォンを使う気のない方もおられる。そういった方がデジタルの恩恵を一切受けていないかという、誰かがサポートすることでその恩恵を受けていると思う。市民課で、コンビニの機械と同様にマイナンバーカードを用いて住民票などを取得できるが、その操作ができないことについて、職員からサポートをしている。そうしたところで、間接的にデジタルの恩恵を享受していただける取り組みもしている。

最近ではミラペイという地域通貨にプレミアムをつける事業もしている。高齢の方から、アプリを使えないからプレミアムの恩恵を受けられないというお声もあったが、担当課ではアプリを入れるサポート業務も実施したり、使い方を教えたりなど、誰一人取り残さないということに向けて進めているところ。

会長 新しいことを始める時に、最初から完璧なものは難しい。使われている言葉が難しいとか、誤解を招きやすい言葉が使われているなど、公共機関で多いようにも思うので、そのあたりを気にかけていただければと思う。また、バランスも重要。みんなが使えるようになるまで公にしないとなると、ずっと導入できないまま。うまくバランスをとって取り組んでいただければと思う。ほかにあるか。

では議題2. 第5次魚津市総合計画 第12次基本計画（案）答申について、私から提案させていただきます。

（説明）

第5次魚津市総合計画 第12次基本計画（案）答申について

案文について何かご意見等はあるか。よろしいか。修正を求めるとご意見は無かったので、この答申文案をもって答申を行いたい。

事務局 それでは、第12次基本計画案の答申を、前澤会長から市長に行っていただく。

（答申）

再度議事に戻っていただく。会長に進行をお願いする。

会長 議題3. 第3期総合戦略について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （説明）

第5次魚津市総合計画 後期基本計画（案）について

会長 今のご説明についてご意見等あれば挙手を願う。

先に確認させていただきたいが、「総合戦略」は基本計画の重点施策を具体化しているものとのこと。これは元々国の法律があるので総合戦略というの名前とのことだが、誤解を招くなど感じる。これは総合戦略という名前だが、内容をみると戦術と感じた。これは毎年見直しという理解でよいか。

事務局 おっしゃる通りである。

会長 承知した。ほかにご意見、ご質問等あればお願いする。

もう一点お聞きしたい。書いてあることは基本計画と同じ。毎年見直しというのはどの部分を見直すのか。数値目標か、それとも中身か。

事務局 資料のページ番号では8、9ページにあたる。具体的な事業名が列記されているが、KPI や事業の内容、方針などを見直していくというイメージ。

会長 わかった。やはり先程よりも具体的なところが落とし込んであると思う。ほかにご意見、ご質問等あればお願いしたい。

B委員 13 ページの「この地域で今後も子育てをしていきたいと思う」の数値目標で、3.5%の方がそう思っていないという点について。資料2やこの具体的施策でも書いてあるが、切れ目のない支援をすることで100%にもっていくとの目標。切れ目がなくなれば100%になるものだろうかとの疑問。また、この地域で今後も子育てをしていきたいと思っていない3.5%の方は、切れ目のない支援がないからだ…と置いていらっしゃるのだろうか。

民生部長 ご質問の点について。今後も引き続き魚津で子育てをしていただきたいし、魚津で子どもたちを育てていきたいというのは、理想に近い部分はあると思うが、それを3.5%の方がそう思っていないかというところは、より具体的に調べる必要があるかとは思う。基本的にはすべての親御さんたちが魚津で子どもを育てたいと思っていただけるよう、100%の理想に近づけるべきだとは思う。そう思わない方の理由を調べることで、いろいろな施策を打ってきているので、何が足りないかというところに繋がると思う。それに応じて総合計画や基本計画や総合戦略も変化させていく必要があるかと思う。

B委員 ありがとう。決して子育て施策に切れ目があることが問題ということも言いたかったわけではない。ここには、子育てのこと、子どもや親のことだけでなく、他の問題があるからという他の部分もあるのでと思った。何か色々なものが繋がっているのではないかと。子育てをしていきたいと思う割合の中で、そう思っていない方の視点でもみてもらえたらと思ったところ。お答えありがとう。

会長 おそらくこのアンケートの質問の尋ね方によっても答えが変わるだろう。ここで子育てはしていきたいけれど、ここにやりたい仕事が無いという場合は「したいけど出てい

く」というふうには、この地域で子育てをしていきたいという意見に入るか入らないかが人によって異なると思う。この数字はほぼ100%に近いし、これ以上は個々人の問題だからやりようがないというところかもしれない。いずれにせよ、アンケートを取る時に詳しく教えていただけるようにするとよいだろうと思った。

C委員 基本目標の1と2について。見比べると違うことはわかるのだが、書き方を変えた方が良いのではと感じた。魅力ある空間、賑わいをつくるという意味では、内容は同じではないのか。

企画部次長 基本目標1は雇用を創出し、若い方に定住していただくこと。基本目標2は関係人口の創出。観光などを通じて関係人口を増やしていくことを狙ったものとなっている。

C委員 賑わいの空間を作って、新しい人の流れを作ることと、若者や女性が働く場所を選べるまちづくりの違いはわかったが、よりわかりやすくないだろうか。

会 長 具体的施策1は基本目標の1と2の両方にあるものなので、確かに、どの視点で、基本目標の1、2にあたるものとしているのかという考えはあるかもしれないが。

企画部次長 基本目標1の視点では若者の定着の意味。基本目標2の視点では移住・定住、ワーケーションなど2拠点生活などが含まれる。そのあたりが大きく違う点となる。

会 長 確かに用語が重なる部分は多いようには思う。どの部分を評価するかという点が異なるということ。1の方は産業の振興がメインで、2は観光、定住のまちづくり。そういった分け方とみればよいか。

企画部次長 基本目標1は農林水産業の関係、基本目標2はまちづくりや観光、住宅施策でのくくりとなっている。そのようなところで捉えていただければと思う。

会 長 よろしいだろうか。ほかにあるか。

D委員 福祉の視点から。この基本目標の内容について、子どもやこれからの人達の話はよくわかるが、魚津ですべて暮らしている人達の話は、おそらく基本目標の4に書かれているのかなと思う。パッと見たときにそのあたりが分かる表現があればと思った。

企画部次長 ご意見を踏まえて中身については表現を少し考えてみたいと思う。

会 長 ありがとう。ほかにあるか。これについてはご意見をお聞きするものだったので、議題3については以上。

本日の議題は終了。本日の審議会で最終回となる。昨年度からおよそ1年半で6回の審議を行ってきた。本審議会は市長の諮問を受けて魚津市の新たなまちづくりの指針となる第5次総合計画後期基本計画の策定にあたり、市民の代表として協議を重ねてきた。計画は実

行に移してこそ意味を持つもの。この総合計画に記載された取り組みが、着実にスピード感をもって実行されることを期待する。最後に委員の皆様から一言ずついただきたい。

C委員 先日、美容院で50代前半の方がお客さんとして一緒におられ、魚津はデジタル化が進んでいるとおっしゃっていた。私自身は「そうなのか」という感じを受けていた。その方は滑川に倉庫と土地があって、売ろうとすると不動産屋さんを通して中国の方を紹介された。インバウンドも良いが、中国の方が結構増えているのだと感じる。また、日本全国どこへ行っても、台湾と言われているようだ。観光面での交流だけでなく、半導体の企業が来たりしないだろうかなど、そういったことを思っている。

E委員 人口減少は海外でも問題で、中国では1人っ子政策から3人っ子政策へと転換するなど、労働力不足を想定してロボット開発されている時代。また、若年層の思想や価値観の実態は、結婚や出産に対して変化している状況とも聞く。そういう時代にあった適応が必要かと思う。労働力不足は外国人の受け入れや、60～70代の元気な方が沢山おられるので、そういう方も雇用して対応されていくことも重要なと思う。

団体の観点から申し上げますと、芸術文化の交流を通して、魚津市の人材確保に協力できればよいと思う。

F委員 会議の中で、スマホ教室をやっているという、誰一人取り残さないというお話があった。仕事の中で偶然、ミラペイに関わらせていただく機会があり、実際、100人ほどアプリを入れる手伝いをさせていただいた。誰一人同じスマホの使い方をしている方はいらっしゃらず、様々な方を見た中で、やはり一足飛びにデジタル社会へ入っていくことはなかなか難しいのだろうと思った。伴走し、寄り添うことで積み上げていくことが大事だろうと感じる。団体としては、スマホが利用できない方でもサービスが利用できるシステムの開発などが必要であろうと感じたところ。

G委員 資料を通して市が行っている事業や課題を知ることができ、色々な分野の委員の方の様々な視点でのご意見をお聞きして、これからの魚津市について考えることができた。私自身としても貴重な時間をいただいた。タウンミーティングなどの機会で施策を周知していただいていると思うが、市民が身近に見聞きする機会、伝わりやすい方法を検討いただき、より一層周知いただければと思う。

個人的には、子どもを育てるサポートが、より良い魚津を作り上げていくには大事な施策と感じている。他市には無いが魚津にはあるというサポートによって人が移り住むこともある。障がいを持った方も含めて手厚い支援があることで移住も進むと思うので、そうした方向が良いのかなと思う。

D委員 人口減少や子ども達への支援など施策が色々書かれており、良いと思う。しかし団体としては、目の前に、待ったなしで困っている方がおられる現実もある。そうしたところへの施策も充実していかなければいけないと感じる。行政だけでなく、事業所ができること、市民の方々ができることも考えていきながら、一緒にやっていくことが大事だろうと思う。

A委員 第12次基本計画案については、多くの意見を汲み取っていただき、ありがたいと思う。しっかりと意見が反映されたものになっているのではないかと思う。会議はこれで最後とのことだが、実際はこの計画をどう進めていくかということかと思う。これからがスタート。今は新庁舎の建設や、私鉄、病院の支援など多額の財政措置が必要な事業が市の中にもあるかと思う。災害時の備え、財政健全化等にも取り組まなければならないだろう状況も理解しているが、この計画が真に実行できるよう、DXや観光まちづくりなどアグレッシブな分野についても将来的な投資と受け止めていただけたらと思う。団体として自ら稼ぐ努力も惜しまないので、行政としても必要な財源の確保に努めていただければと思う。

H委員 総合計画についてよく知らないところからスタートし、会議に参加させていただいた。毎年地域の世帯数が減っていく現状や、電車などの公共交通なども心配していたが、この会議を通して様々な分野について市が考えてくれていることがよくわかった。市民にとって今後より一層住みやすいまちになればと思う。

I委員 団体では、学校から地域へと、大きく変わろうとしている。昔PTAをしていた頃は小中で9万1千人いた。現在は小中で6万8千人。18年程で3割程も減ってしまっている。魚津市の小学校の適正化もかなり協議して頑張ったと思うが、やはり子ども達が減っていることは目に見えてわかっている。最終的には健康寿命に繋がっていく話だが、最近は部活動に地域の指導者が関わる方向。地域で根付いて、子ども達が出ていっても戻ってきたいと思えるような魅力のあるまちづくりをしていただければ、より良い地域、より良い魚津市になるのではと思う。

J委員 非常に勉強させていただいた審議会だった。魚津市というと、幼い頃から工業や商業のイメージがあった。事業承継については引き継がせるまでにいかないところがある。人手不足もあるが、事業承継は大事かと思う。市と商工会議所とでセミナーも開催させていただき、多くの方にご参加いただいた。そうしたところから地道に進めたい。また、金利も上がっている。何らかの支援や補填もさせていただいているが、それらを確保していただければ広がっていくだろうと思う。

K委員 総合戦略案の基本目標1で、若年層の流出について書かれている。働きたい企業が増えることへの希望も挙がっている。ごく個人的な観点だが、自分は入善町に在住しており、下新川郡や黒部市の20~30代を比べると、圧倒的に魚津市のほうが起業した若者が多いと思う。ひと昔前よりも個人事業主が割合として増えている。魚津市はもともと商業が多い町で、自分で事業を立ち上げる土壌があったのだろうと思う。魅力ある仕事の創出としては企業の誘致が大きなどころにはなるかと思うが、自分でやりたい仕事があっても、仕事を起こしたいという部分へも行政から支援があれば、もともと住んでいる方も、市から離れた方にも、移住した方にも選択肢の一つとなるのではと思う。団体としても明るく豊かな社会に向けて事業をしているので、協働できたら有難い。

L委員 最近人手不足や労働力不足を非常に感じている。この計画や戦略を進めるのも

人。人口は減っているが、こうした事業や取り組みを進めていることを、知っている人が増えることも重要だろうと思う。計画をしっかりと実行していくことが大事。

M委員 魚津の漁業について考えると漁獲量も激減している。国の漁獲制限も相当数増えている。漁獲が減っている中でTAC制度もあるので、魚津市の地盤産業としてやっていく上で厳しいものがある状態。そこへ人口減少の問題、労働力の不足などがあり、いま魚津市ではインドネシアの方が入ってきている。魚については付加価値を高めることを懸命にやっているが、事業者だけがやっても購買者に届いて広まらなければ、現場には返ってこない。そのあたりも市としてなんとか頑張っていたいただきたいと思う。

N委員 自分の分野で気になるところを見させていただいて、大変勉強になった時間だった。DXなど色々なお話があったなかで、高校では情報という新しい科目がある。教科書は都度改訂され、検定されて出されるが、「情報」は新しい教科書が出る頃には内容が古い。それぐらい世の中のスピードが速い。本日色々な話を聞いたが、この先も想像しないトラブルや良いアイデアは出てくるだろうと思うので、臨機応変に、どんどん挑戦しながら対応していただければよいのかなと思う。

O委員 膨大な情報量があり、有識者の方も沢山集まられて、非常に時間をかけていただいて良いものになったと思う。このなかでは、この下に個別計画も書かれている。そうしたところでもまた各分野で声がかかると思うので、引き続き、魚津市のために微力ながら尽力していきたいと思う。

P委員 民間企業も変化が激しい情勢。総合戦略、まちづくりに関しても、どんどん社会が変わっていくというなかであるので、変化に追従しつつ、しっかり進めていただけたらと思う。我々も地域貢献という部分でしっかりやっていきたい。

B委員 もともと魚津の出身ではないが、こちらに引っ越してきて市内で飲食店をしている。こうした立場から声をかけていただき、有識者の方が集まる場に参加させていただいたので、できるだけ発言できることはしようという気持ちで参加させていただいた。

いま社会で、女性参画を言われていて、それは良いことだと思うが、女性という区切りで見ればよいかというとそうとも思わない。会議の場に女性をどれぐらい入れましょうというのは、それがわかりやすいから言われているのだと思うが、女性、男性どちらかの意見を中心にやればうまくいくかということでもない。それぞれに個性があり、ジェンダーの方向性もある。飲食店を例えにさせていただくと、性別や年齢を問わず、その分野に強い人に集まってもらって進めるほうが、一つの方向に向かっていける。無理に「女性」ということを書いていかななくてもよいのではないかなとは思う。

また、魚津に引っ越してきて感じていることとして。私は神奈川県出身だが、中学受験もして地元にいる時間がなかった。魚津に来てアットホームさを感じている。地域とのつながり、事業者同士のつながりをよく感じる。それが強みでもあると思うので、そうしたことを行政や事業者が活かしていけたら良いかと思う。先程話していた子育て支援や住宅の支援、様々な支援があると思うが、魚津に住んでみたいと思っていただく前に、魚津が気

になるようになってもらわなければいけない。それは行政だけでは難しいことだろうと思う。そういった面で我々事業者達が微力ながら協力させていただけたらと思う。

会 長 私からも一言。現在 AI や DX で一人ひとりの能力は今までと比べて拡大している。人口は減っているが、全体の能力としては大きくなっている時代。それをうまく使っていけばどんどん発展していくのではないかと思う。是非魚津市が発展していくような方向に動いていけばと思う。それでは事務局にお返りする。

事務局 ありがとう。では閉会にあたって村椿市長より挨拶を申し上げる。

市 長 本日は長時間にわたり議論いただきありがとうございます。最後に一巡してご意見をいただいたことも良かった。1年半にわたりご審議いただいた大切な計画。しっかりとこれを生かしてまいりたい。このあとも引き続き、皆さま方に、魚津市のやることをみていただき、アドバイスいただきたいと改めて感じた。皆さま本当にありがとう。

事務局 ありがとう。本日いただいたご意見については内部で検討させていただき、3月末に本総合計画の冊子を完成させる予定。その前に、3月の市議会で本日答申いただいた基本計画案について説明する予定。委員の皆様には、冊子が完成次第、ダイジェスト版とあわせて冊子を送付するので受け取っていただけたらと思う。

委員の皆様におかれては長期間にわたりご協力賜り、誠に感謝する。これで本日の会議は終了とする。皆さまありがとう。

16：40 閉会